「県視協通信」　第106号

2020年　3月



（写真：掛川城と桜）

発行所　公益社団法人静岡県視覚障害者協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70

　　　　　 静岡県総合社会福祉会館内

電話・ファックス　054-251-8090

Eメールアドレス　info@shizuoka-kenshikyo.org

ホームページアドレス

　　　　　　http://www.shizuoka-kenshikyo.org/

　　　　　　　　　　　　　発行人　　須藤正起

　　　　　　　　　　　　　編集人　　安松和男

**目次**

**１．巻頭言　　副会長　杉山典行　　　　　　　　　　・・・・・１ページ**

**２．「在宅介護と担当者会議」**

**熱海支部　菊池一郎　　　　　　　　　　　　　　・・・・・３ページ**

**３．東京見物　水上バスで浅草へ　西支連支部交流会のフリートークから**

**磐田支部　　鈴木利勝　　　　　　　　　　　　　・・・・・５ページ**

**４．生きがいは「ブレイズ」**

**富士宮支部　篠原幸輔　　　　　　　　　　　　　・・・・・９ページ**

**５.ライトホームで学んだこと**

**研修生　仲田英生　　　　　　　　　　　　　　・・・・・１０ページ**

**６．事務局からのお知らせ　　　　　　　　　　　　・・・・・１２ページ**

**７．編集後記　　　　　　　　　　　　　　　　　　・・・・・１３ページ**

**巻頭言**

**副会長　杉山典行**

**ここでは、最近の気になっていることを書かせていただきたいと思います。**

**まずは、盲導犬実働数の減少です。全国では１０７０頭をピークに、９年連続で減り続け、昨年は９２８頭だったということです。住宅構造の変化に伴い、繁殖ボランティアや飼育ボランティアが減少していることなどが原因として挙げられていました。静岡県内でも、ピーク時には55頭前後だったのが、昨年は40頭を切ったとのことで、県内ではここ数年、新規ユーザーがひとりもいないことに加え、今までのユーザーや盲導犬の高齢化により、引退が増えているとのことでした。盲導犬ユーザーとして、とても残念なニュースでした。好きなときに、ひとりで散歩に行ける盲導犬と一緒の生活は快適なのに…。**

**昨年の参院選挙で、重度身体障害者２名が初当選して以来、国会のユニバーサル化の問題が出てきたことです。大型車いす席を確保するために本会議場の改修工事をしたり、介助者を議場に入れることや様々な補助器具を持ち込むことへの議論、質疑応答の時間延長の問題など、ユニバーサル化されていない国会で、障害者抜きにこれまでの障害者関連の法律や政策が議論され決議されていたことに、考えさせられました。民主主義は国民の代表が国会で議論することによって成り立っているはずなのに…。**

**同様に、障害者議員の誕生により、重度訪問介護の問題も浮上してきました。通勤時や自宅・職場で仕事をするときは、重度訪問介護の利用は認められていません。視覚障害者の外出を支援する同行援護などの福祉サービスも同様です。就労時の介護支援は事業主の負担となり、判断に委ねられています。これが、障害がある人にとって就労の壁になっているようで、現行の制度では、障害者が介護を受けながら働くことを想定していないように思えます。企業に障害者の雇用率の引き上げを求めているのに…。**

**私は、テレビドラマをよく見ていますが、最近、副音声解説付きの番組が、ずいぶん増えてきたように思います。また、音声解説付きの映画もたくさん上映されるようになりました。単独で外出すると、電車・バスの車内や町中で、手助けの声をかけてくれる人がずいぶん増えて来たように感じていますし、レストランやコンビニなどの視覚障害者に対する接客対応もよくなっていると感じています。**

**こんなふうに、物や心のバリアフリーが浸透していくように、私たち自身も、積極的に外に出なくては…。**

**この原稿を書いている今日は、立春を過ぎたというのに、今冬一番の寒気が南下し、寒い日が続いております。世界中で新型コロナウィルス患者が増え続けています。会員の皆様には、十分に体調管理に留意し、お元気でお過ごしいただきたいと思います。**

**在宅介護と担当者会議**

**熱海支部　菊池一郎**

**我が家の隣に住む親戚の叔母さん（母親の一回り上の姉で、現在86歳）が、連れ合いである叔父さんが一昨年に亡くなってから一人で暮らしているのだが、昨年の秋頃になって、身体的にも認知機能もだいぶ衰えてきた。**

**以前は週に数回、タクシーを利用して町まで一人で買い物に行ったりもしていたのだが、ここ最近は足のむくみがひどく、自宅の中を杖をつきながら何とか歩いているといった状態なので単独での外出は不可能、通院などにも付き添いが必要となっている。また、記憶の方もかなり怪しくて、その内容については覚えているものの、日にちや曜日などは何遍言っても忘れてしまうし、服薬に関しても飲んだり飲まなかったりで、誰かが管理してあげないと本人だけでは難しくなってきている。**

**家も隣なので本当は自分がその辺の面倒までみてあげられればいいのだが、現実的にそこまではちょっと無理である。とりあえず１日１回は、何かお茶菓子を持って様子をみに行って、一緒におやつを食べながら、できるだけ毎日、話相手になるようにはしている。**

**そんな中、昨日、叔母さんの家に関係者が集まって、担当者会議なるものが開かれた。その日の夕方、我が家の駐車場には、ケアマネさんと介護事業所のサービス責任者、往診に来てくださるドクターとリハビリの先生、それにデイサービスの方からと、車がずらりと５台、びっしりと並んでいた！そして話し合いの結果、月曜日に往診の先生が見えて、火曜日はデイサービスに行き、水曜日にお掃除のヘルパーさんが入り、慣れてきたら木曜日も再びデイサービスに行き、金曜日にリハビリの先生が訪問してくださることになった。**

**ついこの前までは「私はデイサービスなんかに行くぐらいだったら死んだ方がいい」などと言い張っていて、なかなかその気にならずに周囲を手こずらせていたのだが、先週、お試しで行ってみてからは、そこが結構気に入ったみたいなので、周りとしてもほっとしている。**

**今まではほとんどベッドの中にいて、一日中、テレビを見ているだけの生活だったが、そんな叔母さんも来週からは急にいろいろと忙しくなりそうである。**

**ちなみに市内に住むもう一人の叔母さん（こちらも母親の姉に当たり、その叔母さんの二つ下の妹で、現在84歳の一人暮らし）は、「もし私だったら、夜に具合が悪くなっても困るし、みんなに迷惑をかけるのもイヤだから、さっさと自分から介護付きの老人ホームを探して入るようにするけどね」と話していた。まあこの辺は、それぞれの価値観や性格、持ち家か借家かによっても変わってくるのだとは思うが、人生の終末をどのような形で迎えるのかは、「やはり本人の意思が最優先されるのだなあ」と感じた。**

**そして「もしも自分がそのような立場に立たされたときには、果たしてどのような道を選ぶのだろうか？」などとも考えさせられるのであった。**

**東京見物　水上バスで浅草へ　西支連支部交流会のフリートークから**

**磐田支部　鈴木利勝**

**みなさん、こんにちは。磐田支部の鈴木利勝です。**

**今回は少し古い話になりますが、2014年９月７日～１０日まで東京に行ってきたときのお話をします。**

**我が家では、温水器を新しくしたいと思っていました。そのためには３日くらいかかるということで、ちょうど家内が第６０回全国盲女性研修大会(東京大会)に行くことになっていたので、ついて行ってその間に工事をしてもらえばいいと電器屋にカギを預けて出かけることにしました。どうせ東京に行くなら古賀政男記念館や浅草、上野動物園にも行ってみたいと思いました。**

**９月７日、まず、古賀政男音楽博物館に行きました。前日から雨が降っていましたが、そんなにひどくなく着くことができました。館内は古賀政男の音楽が流れていたのですが、スピーカーが下のほうにあったので聞きにくくて残念でした。**

**その後駅で食事をした後、家内がスカイツリーに行ってみたいといったので行くことにしました。上の展望台まで登りました。しかし、残念ながら雲しか見えなかったようです。下に降りてきたらとてもいい匂いがしていたので腹がへって何か食べたいと思いましたが、値段が高そうなのでやめました。**

**次の日、９月８日は、女性部の全国大会の研修会でした。増田明美さんの講演を聞きました。大会最終日の９日は、午前中で終わりなのですが、私の心は朝から早くも隅田川を上って、浅草に行きたいなあという気持ちでいっぱいでした。大会が終わって、一杯飲みたいなあと昼食でビールをたくさん飲もうとしましたが、家内が船に乗るとき転んで川に落ちるといけないから、１杯だけにしときなよと言ったので、１杯にして腹を空けて隅田川を上りました。隅田川は、騒がしい東京の中でこんなに静かなところがあるのかと思いました。**

**水上バスはバスが川の中を走っているようなエンジン音と軽油の臭いがしました。**

**しばらく乗って浅草に着きました。少し歩いて雷門に入ったのですが、道の両側には店がいっぱい並んでいて、たくさんの人でごった返していました。浅草寺まで行く人、浅草寺から帰ってくる人でごった返していて、荷物を持った人、かんぶくろを持った人とか、いろいろな人と肩がすれ違ったりしながら進んで行きました。ちょうどそのときに、島倉千代子の東京だよおっかさんのフレーズを思い出しました。ちょうど３番が自分のいる浅草が出てくるところなんですね。♪さあさ着いた　着きました／達者で永生き　するように／お参りしましょよ　観音様です／おっ母さん／こゝが　こゝが　浅草よ／お祭りみたいに　賑かね(野村敏夫(のむら・としお)作詞)♪**

**このフレーズが実にいいなあ、まさに自分が立っているところじゃないか。何かそんな気持ちで進んでいったんですが。いろいろ店を見ているうちに「舟和のいもようかん」を見つけました。私が開業したころ「ニッポン放送」で「いまに哲夫の歌謡パレードニッポン」が午後１時から４時まで放送されていて１時から１時半までは「浅草うまいもの会」３４の加盟店の提供のコマーシャルをやっていました。**

**宮崎文子(みやざき・ふみこ)さんが『舟和』の『あんこ玉』『芋ようかん』といっていたので食べてみたいなと思っていました。一つからでも買えるということなので『あんこ玉』と『芋ようかん』を１つづつ買って、その場で食べてみました。『あんこ玉』は、あんこを丸く固めてその周りに『芋ようかん』を巻いてあるものです。食べてみるとあんこの甘さと芋ようかんの甘さが二重に重なって口の中が甘ったるく、お茶が欲しくなりました。その後、『評判堂』の『人形焼』、『常盤堂』の『雷おこし』のお店の前を通り、浅草寺にお参りしました。浅草寺の太い柱にも触れてきました。**

**雷門のところまで戻ってきたら人力車がいました。「お客さんどうですか？」というもんですから「ちょっと高いけど乗ってみようか」と思って乗りました。やっぱり乗ってよかったと思いました。このようにお話ができたのですから。**

**人力車のあるところまで歩いて行って、乗る前に人力車に触らせてもらいました。座席が高いので段がついていてそこを上ると座るところに幕が付いていました。**

**「お客さん、どこへ行きましょうか。」「浅草の『うなぎの小柳』とか、すき焼きの『ちんや』とか『釜めし春』てんぷらの『江戸っ子』『三定(さんさだ)』『大黒家(だいこくや)』『浅草むぎとろ』『寿司初』とか、そんなお店やっているんですか」「お兄さんの言った店は全部やっていますよ。お兄さんいやに浅草詳しいですね。どうしてそんなに浅草のことを知っているんですか？浅草に住んでいたんですか？」「いや、ニッポン放送やＴＢＳの番組やコマーシャルで聞いたんですよ。」「そうなんですか。じゃあ、どこへ行きましょうか。」「じゃあ、『寿司初』でも行ってくださいよ。ここからどのくらいかかるんですか？」「１０分くらいですね。」「『寿司初』といったら寿司屋通りの真ん中だって話ですね。」「そうですよ」**

**人力車が動き出すとき、車体が浮き上がったような気がしてちょっと気分がよくなりました。１０分くらいで寿司初に着いたのですが、店に入ってみて、あれだけ宣伝しているのだから大きなお店だろうと思っていましたが、個人でやっているお店でした。お寿司のお値段が高いかもしれないので、ビールは１本にしてお寿司を食べましたが、寿司は小さくお上品でした。結構おいしかったですが。**

**最終日の９月１０日は上野動物園に行き、いろいろな動物、爬虫類を見て帰宅しました。**

**今日は、東京に行った話をさせていただきました。また、機会があれば東京に行ってみたいと思います。お聞きいただきありがとうございました。**

**生きがいは「ブレイズ」**

**富士宮支部　篠原幸輔**

**私が所属する静岡ブレイスは、国体出場を成し遂げるという、大きく躍進した１年となりました。私は、昨年ブレイズに入団しましたが、その時に行われた予選では試合に敗れるという結果で終わりました。**

**その結果に、悔しさを見せるチームメイトを見て、私も又つらい気持ちになっていました。そして、次こそは勝つという、新たな決意にも満ちていました。**

**私達ブレイズの誇れる所は、何より、楽しむということだと私は感じています。その楽しむ感じの中で、真剣さが伝わり１つ１つのことを大事にする強さも見られました。１人１人が楽しみながらも、必ず勝つという強い思いで、いくつもの試合を私たちは経験しました。勝ち負けや反省すべきことなど、多くのことを経験出来た、貴重な日々だったと私は思っています。**

**そして、今年行われた予選に、ブレイズが見事に勝利して、念願の国体に出場を決めた瞬間、みんなが心の底から喜びに満ちあふれたはずです。**

**そして、全国制覇という更なる目標に向かって、練習に励んでいました。選手１人１人が楽しみながら己を磨く姿は、輝かしいものがあったのではないでしょうか。**

**しかし、本番の大会自体が台風の接近に伴い、中止になるという残念な結果になったのは、言い表せない悔しさがあります。そして何よりも、この日のために頑張ってきた皆の悔しさは、どのように言い表せば良いのでしょうか。**

**しかし、私たちの挑戦はまだまだ続きます。来年に向かって気持ちを新たにブレイズは突き進んで行きます。**

**ライトホームで学んだこと**

**研修生　仲田英生**

**私がライトホームにお世話になり、もう７ヶ月過ちました。しかし、実は免許取得後に、リラクゼーションの会社に就職を決めていたのです。**

**東京まで半月ほど、会社の研修を受けに行きましたが、一緒に学ぶ人達は10代の女性、20代の女性、30代男性、アジア圏の女性…が一斉に同じ研修を受けるのです。免許取得者は私１人でした。しかし研修内容は同じものです。内容も、国家資格の取得の為に学んだことなど、全く関係ないものでした。「リラクゼーションなので治療ではありません」と何回も釘を刺されました。もう一度、私がやりたいことを見つめ直し「治療が出来る道」を選ぶことにしたのです。**

**ライトホームの梅原先生とは、私が盲学校のときから面識もあり、治療も受けたことがありました。私は若い頃から色々なマッサージを色々な場所で受けてきましたが、治療の観念のマッサージは梅原先生が１番確かだと思い、昨年７月からお世話になっています。**

**当初は学校で習ったこととの違いに驚かされることばかりで、戸惑ってばかりの毎日でした。施術の方法・目的・結果が全く違うのです。確かに学校での知識は大切です。ですが、患者様に本当の意味で寄り添う大切さは、ライトホームで学ぶことが出来ました。患者様のお辛いお気持ちやその患者様に合う施術方法は、残念ながら学校では学ぶことはできませんでした。研修所であるライトホームだからこそ、全身を治療出来ることを学べる場だと思います。私はいずれ開業したいと考えておりますが、デイサービスや訪問マッサージの仕事だけでは、施術の流れやどんなお身体の患者様にも対応できる施術や知識が足りなくなるように感じたため、ライトホームを選んだのでした。**

**最近は、無資格者のリラクゼーション店舗の進出で、廃業に追い込まれる治療院が多いと聞きます。また、老人施設も増えましたので、スタッフ不足から廃業するところもあると聞きます。安定した就職に不安を覚えます。**

**ですから、しっかりとした技術や知識や接遇などを教えていただける、ライトホームが本当に必要だと思っています。ここで学び、全てを身につければ開業をしてもやっていけると思います。**

**私はこの７か月で、多くの指名をいただくこともできるようになりました。開業してやっていけるという、自信を持つことができました。仕事では患者様が一番ですが、自分が楽しく長くやっていけるように、目指す施術者になれるように頑張ります。**

**今の職場で不安がある方、学校で学んでいる方、この業界がこの先どのようになっていくかはわかりませんが、本物の知識と技術は裏切りません。私は自信を持って、ライトホームで学ぶことをお勧めします。**

**以上、ライトホームに通所しての感想です。**

**ライトホームではいつでも相談や、一日研修などをしていただけるそうですから、ご希望の方は下記にご連絡ください。**

**〒422-8006 静岡県静岡市駿河区曲金５丁目３番３０号**

**静岡医療福祉センター　ライトホーム**

**指導員 梅原慈香(うめはら・じきょう)**

**TEL　 054(282)2944**

**事務局からのお知らせ**

**１．募金活動について**

**今年度の募金活動について、集まった金額をお知らせ致します。**

**フェスタシズウエル２０１９にて、１，４９０円。コミュニティ静岡２１において、４５，３０２円。合計４６，７９２円です。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。そこから、日視連あんま師等法１９条訴訟問題解決活動資金に対し、２０，０００円の協力金を贈らせていただきます。**

**２．令和２年度のコミュニティ静岡２１について**

**令和２年度は、県視協結成７０周年記念並びに法人化３５周年記念事業を実施いたします。日時は１１月２９日（日）、会場は県総合社会福祉会館全館を貸切って行います。今年度より、実行委員会を立ち上げて準備を進めておりますが、来年度の通信で順次、内容についてはお知らせして参ります。**

**３．体調管理について**

**２月には、コロナウィルスにより死亡者が出るなど、知らぬ間に感染し、健康被害を受ける場合もあります。今年は暖冬により、前年度より早い時期に花粉症やPM2.5にも、注意が必要になると思われます。マスクを着用するのはもちろんのこと、手洗いうがい等、基本的な予防法を徹底して行いましょう。**

**編集後記**

**立春を過ぎて、急に寒い日が続いていますが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。**

**毎日のニュースでは、中国で多数の死者が出ている、新型コロナウイルスの大流行で報道番組を賑わせています。**

**一昨年、同じ横浜からイタリア船籍の船で、日本１周の旅に出かけ、格安の内側船室を選んだ者にとって、本当に身につまされる思いである。盲導犬も受け入れてくれた、あの楽しい旅の思いでが、空しいものになってきている。**

**さて、昨年暮れの聖火リレーのメンバー発表では、浜松支部から、鈴木秀俊さんが選抜されました。これからは、いよいよオリンピックの話題が沸き起こりそうです。次号では、聖火リレーの楽しい話題も取りあげてみたいものです。**

**浜松は、今日、２月７日の朝に初雪が降りました。暖かな本当の春が待ち遠しいこの頃です。皆様お体にはくれぐれもご自愛ください。**

**以上**

**編集人　安松和男**

**住所　〒430-0925　浜松市中区寺島町４０４－２**

**電話　053-456-4040**

**メールアドレス　harry-yasu@sf.commufa.jp**